

外部評価軽減要件確認票

| | |
|-------|---------------|
| 事業所番号 | 2372101481 |
| 事業所名 | グループホーム岡崎若松の家 |

【重点項目への取組状況】

| | | | |
|-------|--|----|-------------|
| 重点項目① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 総代の声掛けで子供会が来て『よさこい踊り』やお話しをし、お祭りにはお神輿が来てくれ利用者の楽しみになっている。 市役所より『ボランティア一覧』を頂き、ホームに適したボランティアを模索し、本年度からボランティアを積極的に受け入れている。 | 評価 | ○ |
| 重点項目② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 地域包括支援センター職員、総代、民生委員、介護相談員、利用者、家族、知見者、ホーム関係者のメンバー構成で、運営推進会議を年間6回開いている。 | 評価 | ○ |
| 重点項目③ | 市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議への地域包括支援センター職員・介護相談員の参加、介護相談員の受け入れにより、ホームの状況は役所窓口要充分伝えられている。 | 評価 | ○ |
| 重点項目④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議の出席時や面会時に家族の意見・要望の出やすい関係を築いている。 若松通信に写真を載せ、家族にホームの状況の理解を深めている。 | 評価 | ○ |
| 重点項目⑤ | その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | 評価 | ○ ○ ○ |
| 総合評価 | | | ○ |

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|-----------------------|---|
| 2. 事業所と地域のつきあい | (例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| 3. 運営推進会議を活かした取組み | (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。 |
| 4. 市町村との連携 | (例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。 |

【過去の軽減要件確認状況】

| | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 |
| 総合評価 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | | | |